



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日

東

上場会社名 株式会社アダストリアホールディングス 上場取引所  
 コード番号 2685 URL <http://www.adastria.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部長 (氏名) 新谷 亮 (TEL) 03-6895-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年10月23日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	88,051	38.1	2,038	△45.9	2,174	△45.4	109	△94.8
26年2月期第2四半期	63,749	15.6	3,767	0.2	3,980	3.5	2,090	△3.6

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 726百万円(△75.8%) 26年2月期第2四半期 3,005百万円(21.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	4.51	4.51
26年2月期第2四半期	96.04	96.03

(参考) EBITDA 27年2月期 第2四半期 6,517百万円(0.4%) 26年2月期第2四半期 6,490百万円  
 のれん償却前EPS 27年2月期 第2四半期 54.25円(△52.7%) 26年2月期第2四半期 114.63円

※両指標の定義、計算方法等の詳細は、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	83,111	44,903	54.0
26年2月期	78,841	44,786	56.8

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 44,898百万円 26年2月期 44,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	50.00	—	25.00	75.00
27年2月期	—	30.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	45.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,900	21.3	5,100	△11.5	5,100	△15.4	700	—	28.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) EBITDA 27年2月期 通期(予想) 14,600百万円(5.3%)  
 のれん償却前EPS 27年2月期 通期(予想) 127.67円(△18.6%)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期2Q	24,400,000株	26年2月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	118,328株	26年2月期	117,588株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期2Q	24,282,022株	26年2月期2Q	21,768,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成27年2月期の個別業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,900	△93.2	400	△92.4	700	△87.2	300	—	12.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月1日付で、会社分割により持株会社となっております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 店舗出退店等の状況	10
(2) ブランド・地域別売上高の状況	11
(3) 商品部門別売上高の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果などから、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られ、景気は緩やかに回復基調が続いているものの、個人消費は消費税率引上げの影響による落ち込みが見られました。

当社グループの主要ブランドが属するカジュアルウェア市場におきましては、消費税率引上げ以降、節約志向の高まりとともに、商品を慎重に吟味し選別を厳しくするなど、お客様の消費行動に変化が見られ、全般的に伸び悩みを見せております。

このような環境のもと、売上高につきましては、平成25年9月に実施しました株式会社トリニティアーツの連結子会社化の影響により前年同期比38.1%増となり、大きく伸長しております。ブランド別では、「グローバルワーク」、「レプシムローリーズファーム」及び「スタディオクリップ」が好調に推移しております。

店舗展開につきましては、136店舗の出店等（内、海外11店舗）、33店舗の退店（内、海外11店舗）の結果、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は、1,316店舗（内、海外81店舗）となりました。

収益面につきましては、円安による原価の上昇や海外事業の不振などによる売上総利益率の低下、平成25年9月に実施しました株式会社トリニティアーツの連結子会社化に伴うのれん償却額の計上やテレビコマercial等の積極的な広告宣伝の展開などによる販管費率の上昇により、営業利益率は2.3%（前年同期比3.6ポイント減）となっております。

特別損益につきましては、店舗の減損損失2億63百万円を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は880億51百万円（前年同期比38.1%増）、営業利益は20億38百万円（前年同期比45.9%減）、経常利益は21億74百万円（前年同期比45.4%減）、四半期純利益は1億9百万円（前年同期比94.8%減）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるEBITDAは65億17百万円（前年同期比0.4%増）、のれん償却前EPSは54.25円（前年同期比52.7%減）となりました。（※）

(※) 株式会社トリニティアーツの連結子会社化等によるのれん償却額の計上により、前連結会計年度より営業利益以下の利益が大幅に引き下げられることとなりました。のれん償却額は現預金の流出を伴わない費用であるため、キャッシュフローの増減と、営業利益以下の利益項目の増減に大きな乖離が発生しております。また、各国の会計基準によって計上方法が異なるため、海外企業との適切な比較も困難になっております。これらの点を考慮し、新たに「EBITDA」及び「のれん償却前EPS」を参考指標として開示させていただくことにいたしました。

「EBITDA」

営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額（販売費及び一般管理費）

「のれん償却前EPS」

（当期純利益+のれん償却額（販売費及び一般管理費、特別損失））÷ 期中平均株式数

なお、平成26年9月17日の取締役会において、平成27年3月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社トリニティアーツを当社の完全子会社である株式会社ポイントに吸収合併すること（「本子会社間合併」）、及び本子会社間合併の効力発生を停止条件として、同日付にて、株式会社ポイントを当社に吸収合併することを決議いたしました。（「当社合併」、本子会社間合併とあわせて「本合併」）

当社グループでは、平成25年9月の経営統合に際し、各社の企業文化を尊重・維持しつつ企業価値の拡大を図る目的から持株会社体制に移行いたしました。統合により、グループ全体としての品揃えが豊富になったこと等から顧客層の拡大を図ることができたものの、バリューチェーンの最適化に時間を要し、商品企画精度の不足、経費増加等から、収益面では十分な成果を上げてはおりません。移行後約1年が経過し、各社の企業文化の相互理解と諸制度の統合が進む一方で、商品企画力の向上、意思決定のスピードアップ、効果的な広告宣伝政策や店舗配置の最適化、間接部門の経費削減、仕入れ・物流体制の一層の合理化等を図り、早期の業績向上を図ることが必要な状況にあります。そのため統合によるメリットを十分に活かすには、さらなる組織再編が必要であると判断し当社が主要な事業主体である小売2社の株式会社ポイント及び株式会社トリニティアーツと合併することといたしました。本合併により、経営効率化と意思決定の迅速化を図り、企業価値向上につながる体制に再編いたします。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、42億70百万円増加して831億11百万円となりました。これは主に、現金及び預金が14億39百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が22億90百万円、敷金及び保証金が21億35百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、41億53百万円増加して382億8百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した45億35百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、1億17百万円増加して、449億3百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べて、14億48百万円減少して70億80百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、16億24百万円（前年同期は27億56百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が19億20百万円、減価償却費が33億77百万円あった一方、法人税等の支払が19億65百万円あったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、70億47百万円（前年同期は25億74百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が43億75百万円あったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、40億7百万円（前年同期は49億85百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増加が46億17百万円あったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成26年8月20日に通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、同日公表の「平成27年2月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当連結会計年度におけるEBITDAは146億円（前年同期比5.3%増）、のれん償却前EPSは127.67円（前年同期比18.6%減）を見込んでおります。

## 「参考」個別業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、平成26年8月20日に通期の個別業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、同日公表の「平成27年2月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,540	7,101
受取手形及び売掛金	6,016	8,306
たな卸資産	13,914	14,101
その他	3,088	2,771
貸倒引当金	△33	△65
流動資産合計	31,525	32,215
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	8,692	9,428
その他(純額)	5,402	5,308
有形固定資産合計	14,095	14,736
無形固定資産		
のれん	10,606	9,650
その他	1,182	1,254
無形固定資産合計	11,789	10,904
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,732	16,867
その他	6,909	8,630
貸倒引当金	△210	△243
投資その他の資産合計	21,430	25,254
固定資産合計	47,315	50,896
資産合計	78,841	83,111
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,626	13,457
短期借入金	4,734	9,269
未払金	8,056	8,068
未払法人税等	2,458	2,306
賞与引当金	1,594	2,001
役員賞与引当金	—	178
その他の引当金	290	290
その他	713	781
流動負債合計	32,474	36,355
固定負債		
引当金	101	95
その他	1,479	1,757
固定負債合計	1,580	1,853
負債合計	34,054	38,208

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	6,986	6,986
利益剰余金	33,482	32,985
自己株式	△407	△408
株主資本合計	42,722	42,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,720	2,441
繰延ヘッジ損益	28	66
為替換算調整勘定	308	167
その他の包括利益累計額合計	2,058	2,675
新株予約権	5	5
純資産合計	44,786	44,903
負債純資産合計	78,841	83,111



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	63,749	88,051
売上原価	27,070	38,515
売上総利益	36,678	49,536
販売費及び一般管理費	32,911	47,498
営業利益	3,767	2,038
営業外収益		
受取配当金	29	40
為替差益	3	47
保険解約返戻金	73	—
その他	172	147
営業外収益合計	278	235
営業外費用		
支払利息	18	23
コミットメントフィー	6	—
自己株式取得費用	20	—
保険解約損	6	—
デリバティブ評価損	—	69
その他	15	6
営業外費用合計	65	99
経常利益	3,980	2,174
特別利益		
段階取得に係る差益	202	—
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	202	9
特別損失		
減損損失	113	263
特別損失合計	113	263
税金等調整前四半期純利益	4,069	1,920
法人税、住民税及び事業税	2,216	2,344
法人税等調整額	△237	△533
法人税等合計	1,978	1,810
少数株主損益調整前四半期純利益	2,090	109
四半期純利益	2,090	109

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,090	109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	723	720
繰延ヘッジ損益	12	37
為替換算調整勘定	179	△140
その他の包括利益合計	914	617
四半期包括利益	3,005	726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,005	726
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,069	1,920
減価償却費	2,392	3,377
減損損失	113	263
のれん償却額	404	1,207
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	65
賞与引当金の増減額(△は減少)	187	588
段階取得に係る差損益(△は益)	△202	—
売上債権の増減額(△は増加)	△31	△2,315
たな卸資産の増減額(△は増加)	△236	△235
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,732	△1,129
未払金の増減額(△は減少)	△172	164
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32	334
その他	261	△670
小計	5,016	3,570
利息及び配当金の受取額	32	41
利息の支払額	△18	△22
法人税等の支払額	△2,273	△1,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,756	1,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,478	△4,375
投資有価証券の売却による収入	—	24
無形固定資産の取得による支出	△344	△562
敷金及び保証金の差入による支出	△655	△2,443
敷金及び保証金の回収による収入	865	307
その他	38	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,574	△7,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	690	4,617
長期借入れによる収入	257	—
長期借入金の返済による支出	△318	—
配当金の支払額	△1,520	△608
自己株式の取得による支出	△4,000	△1
その他	△93	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,985	4,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,719	△1,448
現金及び現金同等物の期首残高	18,338	8,529
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	637	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,256	7,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 店舗出退店等の状況

店舗業態・地域	店 舗 数							当第2四半期 連結累計期間末
	前連結会計 年度末	当第2四半期連結累計期間					増 減	
		出店等	変 更	退 店	合 併 (注4)			
グローバルワーク	173	7	—	△3	—	4	177	
ローリーズファーム	159	7	△1	△6	—	—	159	
レプシムローリーズファーム	110	6	—	—	—	6	116	
ジーナシス	82	1	—	△1	—	—	82	
レイジブルー	62	2	—	—	—	2	64	
ヘザー	76	4	—	△3	—	1	77	
その他	145	24	1	△2	—	23	168	
株式会社ポイント計	807	51	—	△15	—	36	843	
ニコアンド	100	8	—	△1	—	7	107	
スタディオクリップ	129	27	—	—	—	27	156	
その他	54	32	—	△6	49	75	129	
株式会社トリニティアーツ計	283	67	—	△7	49	109	392	
株式会社バビロン	42	7	—	—	△49	△42	—	
国内合計	1,132	125	—	△22	—	103	1,235	
香港	30	—	—	△5	—	△5	25	
中国	21	8	—	△4	—	4	25	
台湾	21	2	—	△2	—	—	21	
シンガポール	9	1	—	—	—	1	10	
海外合計	81	11	—	△11	—	—	81	
グループ合計	1,213	136	—	△33	—	103	1,316	

- (注) 1. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。  
2. 複数ブランドを商品展開している店舗は、その店舗を運営しているブランドで集計しております。  
3. 株式会社トリニティアーツは、同社の子会社を含めて集計しております。  
4. 平成26年4月1日付で、株式会社トリニティアーツを存続会社、株式会社バビロンを消滅会社とする吸収合併を実施し、それに伴う変更を記載しております。

## (2) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
グローバルワーク	14,769	16.7	9.0
ローリーズファーム	11,620	13.2	△4.0
レブシムローリーズファーム	6,974	7.9	13.6
ジーナシス	4,648	5.3	△10.2
レイジブルー	3,927	4.5	△14.1
ヘザー	3,612	4.1	△11.5
その他	11,517	13.1	5.3
株式会社ポイント計	57,071	64.8	0.9
ニコアンド	9,699	11.0	—
スタディオクリップ	9,829	11.2	—
その他	6,008	6.8	—
株式会社トリニティアーツ計(注3)	25,538	29.0	—
株式会社バビロン(注3)	764	0.9	△67.5
その他	3	0.0	—
国内合計	83,377	94.7	38.0
香港	3,003	3.4	54.0
中国	554	0.6	34.8
台湾	656	0.8	△4.2
シンガポール	460	0.5	56.2
海外合計	4,674	5.3	39.9
グループ合計	88,051	100.0	38.1

- (注) 1. 株式会社トリニティアーツは、同社の子会社を含めて集計しております。  
2. 株式会社トリニティアーツは、前第3四半期連結会計期間より連結子会社となったため、前年同期比増減率は記載しておりません。  
3. 平成26年4月1日付で、株式会社トリニティアーツを存続会社、株式会社バビロンを消滅会社とする吸収合併を実施しております。

## (3) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	12,385	14.1	5.4
レディース(ボトムス・トップス)	59,166	67.2	50.6
雑貨・その他	16,499	18.7	29.7
合計	88,051	100.0	38.1

- (注) 雑貨・その他は、ポイント引当金繰入額等が含まれております。